



防災のとびら

東日本大震災から
8年7か月

石巻市立広瀨小学校防災だより 文責：佐竹
令和元年10月29日 No.14

台風19号の影響！！

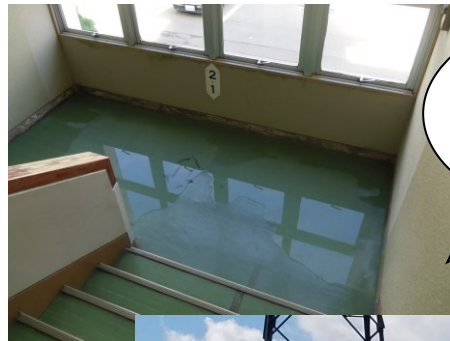
今回の台風19号は、皆さんもご存じの通り、日本全国に大きな被害をもたらしました。メディアで見る映像には心が痛みます。台風は広瀨にも大きな影響を与えました。地区の道路や田が冠水し、校舎も14か所雨漏りがありました。「防災のとびら13号」でお伝えしたハザードマップで示されている通りの被害が出たことで、改めて情報をいち早く知り、避難行動を取ることの大切さを実感しました。

学校の踊り場 13日午前9時頃→



↑ 広瀨寺前 13日午前11時頃

柏木地区の田畑 13日午前11時頃→



翌日、本部役員の皆さんと片付けをしました。



第3回学校地域防災連絡会の話合いで、11月3日（日）の学校地域合同防災訓練は中止となりました。しかし、予定していた松島自然の家による各種体験「ポリ袋DEごはん」「ブルーシート寝袋体験」「段ボールベッド、段ボール簡易トイレ体験」は、日を改めて学校で実施します。詳しい持ち物や日程は後日お伝えします。会議では、防災連絡会会長の長倉さんから、「防災というと津波や地震を考えるが、広瀨地区においては、川の氾濫やがけ崩れ等が心配される。子供たちや地域の命を守るためには、避難所の在り方や垂直避難など考えていく必要がある」との話がありました。近年の想定を超えた災害で、備えていても防げないこともあるからこそ、より高い防災意識をもち、地域の方々の横のつながりをより一層大切にしていかなければならないですね。